

オリーブの会通信

2024年9月20日第46号 (通巻52号)
オリーブの会
大阪府豊能郡能勢町平通101-453
tel/fax:072-737-9454
mail: oribunokai@gmail.com
facebook: oribunokai

مجموعة الزيتون



イスラエルは戦線を拡大、レバノンに ジェノサイド

レバノンの爆発現場

9月19日現在のガザの虐殺は、死者が4万1千272人に、負傷者が9万5千551人、行方不明者は、1万人に上っている。ガザでの無差別虐殺が続く中で、ネタニヤフ政権が、9月16日にヒズボラに対する戦争を宣言した次の日、レバノン、シリアで、ポケベル爆弾が、一斉に爆発し、子供を含む12人が死亡し、3000人が負傷した。次の日には、それ以外の通信機器が爆発した。その中にはウォークマンキーなど、前日の死者の葬儀に使われるものや、医療関係者のものが含まれており、死者は25人、負傷者は750人となった。イスラエルのいつもの残虐なやり方で、ポケットベルでは、わざとメッセージをいれて、装置を手取るようにさせ、手を負傷させたり、目を負傷させたりした。そして、次は、葬儀の警備や、医療機関を狙い、さらに人命を狙った。まさに、残酷な虐殺を狙ったものであり、国連もこの攻撃を非難した。

イスラエル、アメリカがスマホの位置情報を使って、攻撃をつづけてきたことに対して、ヒズボラは、スマホをやめて、ポケベルに切り替えたことが裏目に出た。このポケベルは、台湾が設計し、欧州で生産されたといわれているが、会社の痕跡も、生産の痕跡もなく、明確にモサドの幽霊会社と思われる。レバノンに入ってきたもので、制裁を受けているレバノンには、そのまま入ってこず、3か月港で留め置かれたといわれている。その間

にモサドによる工作は、簡単にできたものと思われる。それ以前に大規模に準備していたことも考えられる。この前代未聞の攻撃にヒズボラがどのように反撃するかは、注目する必要がある。

9月19日ヒズボラのナスララ書記長は、イスラエルによる宣戦布告として、全面的な報復を宣言した。

パレスチナの新学期

ガザ、西岸、9月はパレスチナの新学期です。ガザでは、学校は破壊されるか、避難場所となり、大学は、イスラエル軍によってすべて破壊された。子供たちの将来を奪うジェノサイドの一環である。ガザでは、ボランティアがテントで新学期を開始、子供たちの学びの場を提供しています。西岸では、新学期にイスラエル軍に子供が殺され、遺影だけが教室に参加することになっている。その子供は自宅にいたところをイスラエルの狙撃兵によって殺害された。ジェニン、トルカラムなどガザと同じように破壊されています。このような状況の中でも、子供たちは自分たちの未来のために必死で学習しています。

ポリオワクチンの接種

8月16日にポリオが25年ぶりにガザの子供に発症した。ポリオ菌の蔓延がイスラエル軍にも検知され、イスラエル軍はイスラエル兵士のみにもワクチン接種を行った。しかし、WHOなどが、ガザへのポリオワクチンの接種のために一時的な停戦を呼びかけたため、イスラエル

軍も期間も地域も時間も限定した停戦を受け入れた。しかし、イスラエル軍はガザへの攻撃をやめなかった。

現在第一段階の接種が終わったが、二回目に向けてイスラエル軍との調整が行われている。

絶滅戦争

ポリオのワクチンの接種をおこなっている間も、ハマスの拠点として避難キャンプ、住居を攻撃を強めている。避難民のテント、多数の住民が避難する学校への攻撃を続け、死者は4万1千人を超えた。そのほとんどが子どもと女性である。イスラエルは、ハマスが拠点としていることを口実にしているが、その証拠を一度も示したことなく、絶滅戦争を進めている。特に目立つは民間防衛隊など住民の救助に当たる職員の家を攻撃し、家族もろとも殺すなどの蛮行を行っている。

一方では、イスラエル軍は、ラファでハマスの部隊を壊滅した宣言しているが、ハマスによる攻撃は継続しているし、無差別攻撃を繰り返しているイスラエル軍の姿に勝利の可能性はない。

停戦交渉

イスラエルと米国はハマスが障害と主張するが、ネタニヤフが、ガザへのイスラエル軍の占領の維持を主張するために、停戦交渉は進展していない。ハマスは、7月の米国の提案に合意しており、それ以上の追加をみとめない立場である。ネタニヤフの立場はイスラエル軍からも反対されており、障害となっているのは、ネタニヤフであるのは明確になっている。ネタニヤフは、米国大統領選挙でトランプが勝利するまで継続するつもりである。プリンケン国務長官がエジプトを訪問したが停戦交渉に進展は見られず、訪問中にレバノンでのポケベル爆弾事件が起こり、ガザだけでなく、レバノン国境でエスカレートが始まろうとしている。ネタニヤフは、戦争の拡大を目的としており、地域全体の紛争に発展しかねない。

西岸への攻撃の拡大、トルコ系米国市民の殺害

西岸への占領軍、入植者たちの横暴が拡大している。その中で、入所地の拡大に反対する平和的な抗議行動に参加していたトルコ系米国市民が、イスラエルの狙撃兵によって殺害された。もともとは、パレスチナ人の抗議行動に外国人ボランティア参加するのは、イスラエルがパレスチナ人を攻撃しにくくする人間の盾となることを目的としている。しかし、その外国人ボランティアを平気で攻撃するようになっている。イスラエルは、いつものごとく、意図的なものではなく、偶然であると意図的な殺害を否定したが、目撃証言、検死結果から、200メートル先の屋根の上にいる狙撃兵が意図的に狙ったもので

あることは明確であった。また、いつものように米国は自国民が殺害されたにも関わらず、イスラエルの主張を繰り返した。米国のこの態度は、人質の中の米国系イスラエル人の殺害に対しては、米国司法当局が直ちにハマスの指導者に逮捕状をだしたのに、同じ米国市民でも、パレスチナ系、トルコ系の米国市民のイスラエルによる殺害には、イスラエルの言うことをそのまま受け取り、イスラエルに制裁を課すことはなかった。米国のダブルスタンダードは明確である。

イスラエル国民の停戦を求める声を無視するネタニヤフ

イスラエル国内では、9月1日の6人のイスラエル人の人質の遺体が発見され、ハマスによって殺害されたものと発表したが、停戦を求める声は拡大し、ついに9月9日50万人を超える大規模なデモが拡大した。ネタニヤフは、殺害をハマスのせいにすることによって、ハマスへの軍事行動への支持を強めようとしたが、人質の家族にとって、ハマスよるものかイスラエルによるものかには、関係なく戦争が継続すれば人質が生きて戻る可能性は減っていくのであり、戦争の継続ではなく即時の停戦しか、その望みを叶えることはできないのである。ネタニヤフは、そうした声に耳を貸さず、ガザへの攻撃を続けている。

自治政府は、国連にイスラエルに6か月以内に占領地から撤退を求める決議、イスラエルの報復

影の薄い自治政府は、国連にイスラエルに6か月以内に占領地からの撤退を求める決議を国連総会にもとめた。総会ではパレスチナの正式加盟を承認する決議をしているが、安保理で承認を受けなければならないが、米国が反対している。この決議案にもなって、総会では、パレスチナがオブザーバーの席から、正式の席に移された。イスラエルは、この動きに自治政府に対する制裁を打ち出した。自治政府がイスラエルの支配から自由でないことが示された。国連総会決議は3分の2の支持によって可決された

ガザに連帯するレバノンのヒズボラの攻撃は続き、また、イエメンのフーシ派による攻撃も続いて居る。

おりしも、米国が戦争の拡大を抑えようとし、イスラエル政府内では、首相と国防相が対立していた。ネタニヤフ首相は、ガラント国防相を解任し、右翼党のギドン・サルを国防相としようとしていたといわれている。ガザでの戦争でハマスを壊滅したとしているが、軍内には、ハマスに勝利することはできていないといわれている。

パレスチナの民族浄化を目指すイスラエル

10月7日からもうすぐ1年がたとうとしているが、イスラエルのいう自衛権の行使とは程遠いものになってい

る。すでにイスラエルは、ガザで41000人以上を殺害し、そのほとんどは、女性と子供である。そして、人質の解放という大義名分も1年たってもほとんど実現されず、ほとんどが遺体で帰ってくる状態であり、しかも、ほとんどは、イスラエルの爆撃によるものである。

イスラエルの国連大使は、10月7日の虐殺を無視していると国連を批判している。しかし、彼らの被害者1100人は、イスラエル軍による殺害された可能性が高いのである。いくらイスラエルの国連大使が、国連を批判しても、ガザでの虐殺は明確であり、それはイスラエルの自衛の権利とは言えないものである。

そして、ガザの虐殺に隠れて、西岸での入植者、占領軍の暴力が拡大し、その目的は、土地から、パレスチナ人を一掃することにある。イスラエル軍は、オスロ合意のA地区、B地区でも、占領軍による直接の支配が行われている。そして、イスラエル軍は、入植者の犯罪行為は取り締まらず、パレスチナ側を弾圧している。

こうした状況の中で、若者たちは、自発的に武器をと

り、占領軍に対して、抵抗しており、これに対して、ガザと同じように攻撃をしている。

これを民族浄化といわずになんと呼ぶのか、旧約聖書の神話に基づいて、パレスチナを自ら土地とする妄信者たちに悪行の限りを尽くさせている。イスラエル人の評論家は、入植者たちは、ISISと同じであり、神の言葉以外は信じないのだからと言っている。悪いことに、ネタニヤフの内閣には、そうした妄信者の入植者の代表が2人も入っており、彼らは、パレスチナ人の存在を許さない。

そこには、米国が言う2国家解決の道は存在していない。ネタニヤフは、2国解決を押し付けない、トランプの登場を待っている。

抵抗運動は、持久的に抵抗を続けなければならない。



ヒズボラのポケベルが爆発：イスラエルは以前にもこのような攻撃を行ったことがあるか？

アメリカン大学ベイルート医療センターの外で担架に乗せられた人物、2024年9月17日、レバノンのベイルートでポケベルが爆発した後、アメリカン大学ベイルート医療センター（AUBMC）の外で担架に乗せ

イスラエルによる最近の殺害の手法と規模は新しいかもしれないが、敵を暗殺するというイスラエルの考えははるか昔に遡る。

マジアル・モタメディ著

2024年9月18日公開

イスラエルとその諜報機関モサドは、火曜日にレバノン全土で民間人とヒズボラ工作員を殺害または負傷させたポケベル数千台の爆発を画策したと非難されている。彼らはまた、水曜日にレバノン各地で起きた一連の爆発事件の背後にいるとも疑われている。

ヒズボラが携帯電話のハッキングを避けるために切り替えた無線通信装置の爆発により、8歳の少女を含む9人が死亡、イランのレバノン大使モジタバ・アマニを含む3,000人近くが負傷した。

イスラエルと西側諸国のメディアによると、モサドとイスラエル軍は協力して爆発物を仕掛けた。イスラエル当局は沈黙を守っているが、ベンヤミン・ネタニヤフ首相が全員に口を閉ざすよう指示したとのニュースが流れている。

爆発によりレバノンのヒズボラ工作員の多くが摘発され、病院が満員になったことでイスラエル工作員は情報収集の機会を得た。

ヒズボラの同盟国イランが「大量殺人」と名付けたこの攻撃の手法と規模は前例がないが、イスラエルは何十年も暗殺や破壊工作を行ってきた。

以下はそれらの一部です：

革新、暗殺

非難や地域間の緊張の高まりにもかかわらず、イスラ

オリーブの会通信 第46号(通巻52号)

エルは一部の映画でも非現実的と思われるような方法で敵対者を暗殺してきた。

7月31日、ハマスの政治局長イスマイル・ハニヤとヒズボラの最高司令官フアド・シュクルがそれぞれテヘランとベイルートで数時間の間に相次いで暗殺され、ガザ停戦の見通しが再び遅れた。

ベイルート郊外の人口密集地域を襲った空爆で、イラン革命防衛隊(IRGC)のメンバーであるシュクル氏、2人の子供、女性1人が死亡した。

ハニヤ氏とそのボディーガードは、イランの首都テヘランにある要人用邸宅で死亡した。

正確な武器と射程距離は公式には確認されていないが、ハニヤ氏を殺害した弾丸は、防空網を回避してわずかに数キロ離れた場所から発射された小型の誘導式対要塞ミサイルだった可能性が高い。

しかし、匿名のイスラエルの情報筋はメディアのインタビューで、事前に部屋に爆弾が仕掛けられていたと主張した。

ハマスの一部は、ハニヤ氏がWhatsAppやセキュリティの低いSIMカードを使用していたため、モサドの作業者がハニヤ氏の正確な居場所を突き止めた可能性があるとして示唆した。

2020年11月、イランの核科学者モフセン・ファクリザデ氏は、妻とボディーガードとともにテヘラン近郊を運転中、白昼堂々と衛星誘導機関銃で暗殺された。

ファクリザデ氏

2020年11月27日、テヘラン郊外でイランの科学者モフセン・ファクリザデ氏が殺害された攻撃現場の地面に残された血痕[WANA(西アジア通信社)ロイター経由]イスラエルと西側メディアの報道によると、重さ1トンの機関銃がモサドによってバラバラにイランに密輸され、道路脇に駐車されたピックアップトラックの荷台に設置されていた。

イラン当局は、銃には優れた標的技術が備わっていたため、車の後部座席にいたファクリザデ氏だけが死亡し、隣に座っていた妻は無傷だった。

ファクリザデ氏の死後、トラックは証拠隠滅のため爆発した。

ファクリザデ氏の暗殺前の10年間に、イランの核開発計画を妨害しようとして少なくとも5人の核科学者が殺害された。中には、バイクに乗った覆面の作業者が移動中の車に粘着爆弾を仕掛けた者もいた。

イランは、自国の核施設、特にエスファハーンの地下ナタンズ施設に対する複数の大規模な破壊工作について

もイスラエルを非難している。

イスラエルと米国は、システムを破壊し遠心分離機を破壊し、2010年にイランの核開発計画に打撃を与えた悪名高いスタックスネットウイルスの背後にいた。

イスラエルは、2023年12月に全国のほとんどのガソリンスタンドのサービスを妨害したサイバー攻撃を含む、イラン国内でのサイバー作戦も実行している。

銀行、港、鉄道システム、空港、その他の民間インフラも長年にわたって攻撃を受けている。

イスラエルは2018年に珍しい動きを見せたが、2000年代初頭にイランの核開発計画に関する大量の文書を盗んだと主張した。

ネタニヤフ首相は、国営テレビでその疑惑の発見を発表した。

レバノン、シリアでの標的殺害

イスラエルは、イランの利益を標的にしていると主張し、数十年にわたって両隣国で敵を排除し、戦闘機や武装ドローンを使用して、空中優位性を利用して多くの作戦を開始しています。

イスラエルのガザ戦争開始以来、多くのイラン、パレスチナ、レバノンの高官や政治家が殺害されており、その中には2024年1月初旬にベイルート郊外のダヒエを攻撃したハマスの高官サレハ・アル・アロウリも含まれています。

ガザ戦争開始以来、シリアに対する最も注目を集めた攻撃は、今年4月初旬にイスラエルのミサイルがダマスカスのイラン大使館の領事館を破壊し、IRGCの高官2名を含む16名が死亡したときです。

イランは報復としてイスラエルに300発以上のミサイルとドローンを発射し、イスラエルはイラン国内から複数のクワッドコプターをエスファハーン中心部の軍事基地に発射して応戦し、ミサイル防衛砲台のレーダーシステムを破壊した。

イスラエルは衛星や航空監視、そして多くの国に展開するイスラエルと現地の作業者のネットワークを通じて作戦のための情報を収集している。また、西側同盟国、特に米国からの情報も支援しているとされる。

イスラエルは長年にわたり、ペガサススパイウェアを使用して、人々、政府関係者、ジャーナリスト、企業などから秘密情報を抜き出してきた。

長い攻撃の歴史

暗殺は、1948年に何十万人ものパレスチナ人を民族浄化してイスラエルが建国される前の、英国が支援するシオニスト運動の時代から、イスラエルの戦略の一部と

なってきた。

1956年7月、イスラエルは、イスラエル国内で攻撃を行うために強制的に避難させられたパレスチナ人を募集していたエジプト軍のムスタファ・ハフェズ中佐を小包爆弾で殺害した。

イスラエルは、1972年のミュンヘンオリンピック（イスラエルのオリンピックチームのメンバー11人がパレスチナの黒い九月グループによって殺害された）の後の20年間に、イタリア、フランス、キプロス、ギリシャ、レバノンなど、さまざまな場所で多くの人々を暗殺した。

イスラエルがミュンヘンでの殺人事件の黒幕だと考えていたアリ・ハッサン・サラメは、1979年1月にレバノンで、無線信号によって彼の車に仕掛けられた爆弾が爆発して死亡した。

パレスチナ解放人民戦線の指導者ワディ・ハッダッドは、1978年に東ドイツでベルギー産チョコレートに毒を盛られたとみられている。

パレスチナ・イスラム聖戦の共同創設者で指導者のファティ・シャカキは、1995年にマルタのホテル前で射殺された。

1年後、ハマスの爆弾製造者ヤヒヤ・アヤシュがイスラエルが携帯電話に仕掛けた爆発物によって死亡した。

ヤヒヤ・アヤシュ

失敗

イスラエルは時々失敗してきた。

サラメ殺害の失敗の1つで、モサド職員15人のうち6人が、サラメと間違えたモロッコ人ウェ이터を射殺した共謀罪でノルウェー当局に有罪判決を受けた。イスラエル職員はすぐに釈放され、後に「リレハンメル事件」として知られるようになった。

1997年、当時のハマス政治局長ハレド・メシャルは、カナダ人観光客を装ったイスラエル職員に毒を撒かれ、逮捕された。

ヨルダンがイスラエルとの安全保障協定を破棄すると脅し、ネタニヤフ首相はメシャルの命を救った解毒剤を届けざるを得なくなった。

職員の釈放と危機解決の見返りとして、イスラエルはハマスの共同創設者である精神的指導者シェイク・アハメド・ヤシンの釈放に同意した。

2004年、車椅子のヤシンが暗殺された。イスラエルのヘリコプターから発射されたミサイルによって、ガザ地区北部のモスクで朝の祈りを終えて帰る途中の民間人も殺害された。

出典：アルジャジーラ

ヒズボラはレバノンで爆発したポケベルをどうやって入手したのか？

台湾、新北市にあるゴールドアポ回社の会議室に展示されているポケベル

アルジャジーラは、台湾からハンガリー、そしてレバノンに至るポケベルの供給チェーンを追跡した。これには、ポケベルに爆発物が仕込まれた可能性のある3か月間の港での停泊も含まれている。

サラ・シャミム著

2024年9月18日公開

武装グループヒズボラのポケベル数百台が火曜日にレバノンで爆発し、少なくとも12人が死亡、約2,750人

が負傷した。ヒズボラのポケベルの一部はシリアでも爆発し、負傷者が出た。

レバノン、ヒズボラ、同グループの同盟国は皆イスラエルを非難している。しかし、実際に何が起こったのか？多くのアナリストは、ヒズボラがそもそもどうやってポケベルを入手したかに答えがあると考えている。爆発を容易にするために装置が改ざんされたかどうかの手がかりになるかもしれないからだ。

わかっていることと専門家が起こった可能性があると考え

オリーブの会通信 第46号(通巻52号)

えていることは次のとおりです。

レバノンのヒズボラのポケベルに何が起こったか？

午後3時30分頃(GMT 12時30分)、レバノン全土で数百のポケベルが爆発し始めた。

ヒズボラは火曜日、声明を発表し、「ヒズボラのさまざまな部隊や機関の職員が所有するポケベルが爆発」し、戦闘員2人と少女1人が死亡したと述べた。

イランの支援を受ける同グループは、ポケベルの爆発はイスラエルによるものだとしている。イスラエルは、ガザに対するイスラエルの戦争開始以来、レバノンとイスラエルの国境を越えてヒズボラとの報復攻撃を続けている。

イスラエル軍は爆発についてコメントを拒否している。ヒズボラはイスラエルへの報復を約束している。

レバノンの安全保障筋と別の筋がロイター通信に語ったところによると、イスラエルの諜報機関モサドは、爆発の数か月前にヒズボラが発注したポケベル5,000台に爆発物を仕掛けたという。情報筋によると、3,000台のポケベルに同時にコードが送信され、爆発が起きたという。

ヒズボラのポケベルはどのようにして爆発したのか？

ポケベルの爆発に使われた正確なメカニズムは現時点では不明だが、一部の専門家は、ポケベルが依存する無線システムがハッキングされ、おそらく改ざんされたコードによってハッキングされたのではないかと推測している。ポケベルのバッテリーが過熱し、熱暴走と呼ばれるプロセスを引き起こし、ポケベルのバッテリーが爆発した可能性がある。

元英国陸軍将校で化学兵器専門家のハミッシュ・デ・ブレトン＝ゴードン氏を含む一部のアナリストは、ポケベルがサプライチェーンの途中で改ざんされ、命令で爆発するように配線されていた可能性もあると推測している。

しかし、ブリュッセルを拠点とする軍事・政治アナリストのエリヤ・マグニエ氏はアルジャジーラに対し、レバノンの現地に近い情報筋から、爆発しなかったポケベルについてヒズボラが行った初期調査の詳細が伝えられたと語った。

これらの調査によると、イスラエルは各ポケベルに1～3グラム(0.04～0.11オンス)の強力な爆発物である四硝酸ペンタエリスリトール(PETN)を仕込んだとみられる。

ポケベルに爆発物はどのように仕込まれたのか？

レバノンは米国、欧州連合、および西側諸国からさまざまな制裁を受けている。さらに、米国、英国、および日

本などの同盟国はヒズボラを「テロリスト」組織に指定している。

つまり、これらのドメインに登録されている企業やこれらの国と取引している企業は、特に技術面でヒズボラとの直接取引、そして多くの場合レバノンとの直接取引に警戒している。

マグニエ氏によると、今回のケースでは、ヒズボラが調達したポケベルは第三者の手に渡り、港で3か月間放置され、最終的にレバノンのグループに移されたという。

ヒズボラは、イスラエルがポケベルに爆発物を仕掛けたのはこの3か月間だったと疑っていると、同軍事アナリストは述べた。

同氏はさらに、ヒズボラのこれまでの調査では、ポケベルのバッテリーの周りに金属球が置かれ、爆発力で金属片が外側に飛び出し、「爆発の致死性が大幅に高まった」ことが明らかになっていると付け加えた。同氏は、出荷が保留されていた3か月間にも、この作業が行われていたと付け加えた。

しかし、ポケベルはどこで、いつ作られたのだろうか？

台湾かハンガリーか？爆発したポケベルの残骸には、台湾のポケベルメーカー、ゴールドアポロの商標が記されていたことが確認された。このポケベルは同社のモデルAR-924のものと思われる。

同社は水曜日、ヒズボラのポケベルを製造した事実を否定し、機器に付いているのはロゴだけだとする声明を発表した。

台湾の会社によると、ポケベルはハンガリーのBACという会社がライセンス契約を通じて製造したものだ。

「製品の設計と製造はBACが全面的に担当している」とゴールド・アポロは声明で述べた。「当社はブランド商標の認可のみを提供しており、この製品の設計製造には関与していない」。BACは今のところコメントしていない。

これまでの証拠から、ヒズボラがポケベルを入手したのは2月頃、同グループのリーダーであるハッサン・ナスララが、イスラエルの諜報機関に簡単に傍受され監視される可能性があるため、携帯電話の使用をやめるようメンバーに命じた頃であることが示唆されている。

BACについてわかっていること

BACコンサルティングはハンガリーの首都ブダペストに拠点を置いている。

ロイター通信は、BACの住所は住宅街にある桃色の建物であると報じた。そこにはA4用紙に会社名が掲示さ

れているが、その建物にいた匿名の情報筋は、同社はその建物に登録されているにもかかわらず、物理的にはそこに存在していないと同通信社に語った。

LinkedInによると、BACのCEOはクリスティアナ・バルソニー＝アルシディアコノ氏で、同氏のプロフィールにはユネスコを含むさまざまな組織で働いた経験があると書かれている。

同氏のプロフィールには、「当社は、つながりと信頼性を確保しながら、革新、持続可能性、公平性に向けた

顧客の旅を導く詳細なコンサルティングを提供しています。当社の主なサービスは、事業開発、経営コンサルティング、戦略およびパートナーシップ計画です。」とある。

アルジャジーラはBACに連絡を取ったが、返答はなかった。

出典：アルジャジーラ



2024年9月13日 記事、論評

ジャマル・カンジ著

一方、バイデン政権は、ホワイトハウスのプラットフォームを利用して偽情報を広め、イスラエルの「嘘を真実のように見せかけ、殺人を立派なものにする」一方で、イスラエルにこれらの戦争犯罪を犯す手段を提供し続けている。

52年前、ほぼその日、1972年9月8日、私はレバノン北部の難民キャンプに対するイスラエルの空襲と海襲撃の最初のを生き延びた。私は川の向こうのエリアから200ヤード足らずのところにおりました。そこは、毎日午後4時から5時の間に、私たち子供たちが集まって広い野原で遊んだり、川で泳いだり、地中海で遊んだりする場所です。

最初、飛行機の音のような音が聞こえました。頭を回して空を見上げる前に、低空飛行の戦闘機が頭上を通過し、野原に巨大なロケットを落とす轟音に驚きまし

た。最初の爆弾は野原の北西の角で爆発し、巨大な火の玉、つまり赤く輝く炎と絡み合った黒い煙の柱ができました。衝撃波で私は自転車から投げ出されました。空気は煤で満たされ、破片が機銃掃射の弾丸のように私の周囲に降り注ぎました。

15分も経たないうちに、かつては芝生だった約20エーカーの緑の遊び場は、クレーターだらけの月面のような風景に変わりました。1つの穴は非常に大きく深いため、地下水が穴を埋め尽くしました。

もしイスラエルの空襲があつたら5分か10分遅かったら、私は野原の真ん中で、他の14歳の子供たちと遊んでいたであろう友人のバラカットは殺された。空襲で不発弾や時限爆弾が多数残されたため、翌日まで遺体の回収は困難だった。隣人のマフディも殺され、耕された土の下に埋葬された。数年後、その地域が整地されていたときに彼の遺骨が発見された。

2024年9月10日、アメリカ製の2,000ポンドのMK-84爆弾が残した巨大なクレーターの映像を見ながら、私はこれを思い出す。爆弾は、イスラエルが指定したガザ南部のアルマワシの「安全地帯」で避難民を収容するテント20張に真夜中に投下された。

イスラエル軍は早朝、偽情報の定型文を発表し、襲撃は上級抵抗勢力メンバーに対する「正確な攻撃」であると宣言した。しかし、テントが砂の下に埋もれているクレーターからのビデオは、イスラエルが安全とされる地域の民間人を標的にしていたことを示唆している。

BBCのサイトで「正確な攻撃」について読んだとき、私は52年前に戻った。私のキャンプへの襲撃からほぼ3時間後、父と近所の人たちがラジオの周りに集まり、午後7時のBBCアラビア語ニュースを聞いていたのを覚えている。BBCがイスラエル軍のスポークスマンの発言を引用し、イスラエルがレバノン北部のナフル・エル・バーレド難民キャンプの軍事基地を標的にしたと主張したとき、彼らが息を止め、目を見開き、口を大きく開けていたのを今でも覚えている。

その日の午後に死傷した人の正確な数は覚えていないが、100%が民間人だったことは確かだ。ほとんどが青少年少女で、少なくとも1人の年配の男性がいた。その時私は、9月10日に「安全な」テントで眠っていた多くの人々と同じように無力感を覚え、世界に自分たちの話を語ることができなかった。しかし、米国製の2,000ポンド爆弾が残した写真は、イスラエルの嘘と、管理された西側メディアの共謀を暴露している。

ホワイトハウスと國務省の講壇がそのような嘘を売り

込むプラットフォームとなり、イスラエルの強硬姿勢を強め、大量虐殺を隠蔽していることは、まったく卑劣なことだ。特にひどいのは、ホワイトハウスの国家安全保障コミュニケーション担当顧問ジョン・カービーが流した偽情報で、彼はパレスチナ人を停戦の「主な障害」と非難した。この厚かましい嘘は、ジョー・バイデンの5月27日の提案にベンヤミン・ネタニヤフが7月下旬に追加した新しい条件を指摘する文書が漏洩してから1週間も経たないうちに出された。この提案は停戦合意を台無しにした。

パレスチナ人が7月下旬にネタニヤフ首相の新たな条件を拒否した後、イスラエルは安全地帯にいる避難民に対する組織的な爆撃を強化した。その中には、集団避難所に改造された国連の学校16校も含まれている。イスラエルは自らの条件で停戦を強制することができず、指定された安全地帯へのこれらの攻撃を血なまぐさい交渉戦略の一部として利用し、殺害や飢餓によって民間人に最大限の苦しみを与えることで圧力をかけている。

一方、バイデン政権は、イスラエルにこれらの戦争犯罪を犯す手段を提供し続け、ホワイトハウスのプラットフォームを利用して偽情報を広め、イスラエルの「嘘」を真実のように見せかけ、無実を主張している。尊敬に値する。」

- ジャマル・カンジは、「大惨事の子供たち」、「パレスチナ難民キャンプからアメリカへの旅」などの著書の著者です。国内外のさまざまな論評誌でアラブ世界の問題について頻繁に執筆しています。この記事はパレスチナ・クロニクルに寄稿されました。



マイケル・F・ブラウン メディアウォッチ 2024年9月8日

イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相が小道具の地図の1つを持っているが、角度によってはヨルダン川西岸が消されていることがはっきりとは分からない。オハド・ツヴィゲンベルク UPI

すでにイスラエルのガザでの大量虐殺に加担している

バイデン・ハリス政権は、今やイスラエルのヨルダン川西岸の民族浄化にさらに深く関与している。

イスラエルの指導者たちは、ジョー・バイデン大統領が11月にワシントンポスト紙に寄稿した「イスラエルの指導者に対し、ヨルダン川西岸のパレスチナ人に対する過激派の暴力は止めなければならない、暴力を振るう者は責任を負わなければならないと強調してきた」

という論説にも明らかにひるんでいない。

国務省は、イスラエル入植者による攻撃を受けているヨルダン川西岸のベイタ村で抗議活動を行っていたトルコ系アメリカ人活動家アイシェヌール・エズギ・エイギ氏の金曜日の殺害についてイスラエル軍に責任を負わせるかどうかについてエレクトロニック・インティファダからの質問に回答しなかった。

国務省報道官マシュー・ミラー氏は金曜日、エレクトロニック・インティファダなどに対し、「我々は、本日ヨルダン川西岸でアイシェヌール・エイギというアメリカ人市民が悲劇的に死亡したことを認識している。彼女の家族と愛する人たちに深い哀悼の意を表す。我々は彼女の死の状況についてさらに情報収集を急いでおり、詳細がわかればさらに発言する。我々にとって、アメリカ市民の安全と安心よりも優先すべきことはない」とだけ述べた。

これは嘘だ。バイデン政権は、オマル・アサドやシリーン・アブ・アクレなどのアメリカ市民とパレスチナ人を殺害するイスラエル軍に大量の武器を提供している。政権の優先事項は、パレスチナ系アメリカ人や、彼らの自由と平等の権利を支持するアメリカ人の「安全と安心」ではないことは確かだ。

カマラ・ハリス副大統領の国家安全保障顧問であるフィル・ゴードンは、エイギの殺害について漠然とツイートした。

バイデンもハリスもエイギの死についてはツイートしなかったが、数日前にガザ地区でハーシュ・ゴールドバーグ・ポリンが死亡したことについてはツイートした。バイデンは、ハリスが繰り返した声明で、「ハマスの指導者たちがこれらの犯罪の代償を払うことになるだろう」と述べた。2人の民主党指導者は、イスラエル軍によってアメリカ人が殺害されたとき、あるいは何千人ものパレスチナの子供たちがアメリカの武器で殺害されたとき、同じような言葉を使っていない。

米国の弱い立場とは対照的に、トルコ外務省はエイギへの攻撃を「ネタニヤフ政権による殺人」と呼んだ。同省はまた、「イスラエルはパレスチナ人を支援し、平和的に虐殺と闘うすべての人々を脅迫しようとしている。この暴力政策は機能しない」と指摘した。

トルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、エイギとパレスチナのデモ参加者への攻撃を「野蛮」と非難し、「イスラエルの占領と虐殺政策を終わらせる」ために努力することを誓った。

バイデンとハリスは決してこれほど率直に話さないだろう。イスラエルの戦争犯罪者が彼らを踏みつけにしているのではなく、アメリカの指導者たちが、パレスチナ人

とアメリカ人の両方に致命的な結果をもたらすにもかかわらず、アパルトヘイト国家に武器を供給するために積極的に協力しているのだ。

関心があると主張するアメリカの議会議員は、議会進歩派議員連盟の議長であるプラミラ・ジャヤバル下院議員よりもはるかに強い発言をする必要がある。

イスラエルのアパルトヘイト軍が米国の武器を使って米国市民を殺害し続けることは、立法上どのような結果をもたらすのだろうか。ジャヤバルは何も言わない。おそらく、何も起こらないからだろう。

ネタニヤフと彼の小道具の地図

火曜日、ミラーは、イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相が最近、占領下のヨルダン川西岸地区（金曜日にエイギが殺害された場所）を消し去る地図を使用したことについて、実質的な発言はしなかった。その領土はすべてイスラエルと記されていた。

川と海の平等な権利という考えに激怒する政治家たち（民主党のジョン・フェッターマン上院議員の幼稚なKKK風の言葉を借りれば「そんなのクソくらえ」）は、ネタニヤフが自身の地図で民族浄化やアパルトヘイトを描写すると沈黙する。ネタニヤフの好みは完全には明らかではない（そして民族浄化は確かにアパルトヘイト制度の一部になり得る）。

ネタニヤフは今週、「我々はこれらの人々を追い払うつもりはない。彼らは我々を追い出そうとしているのだ」と。彼の主張は、彼の地図と、パレスチナ人がヨルダン川西岸地区から家を追い出されている事実によって否定されている。暴力的なイスラエル人入植者は国家の一翼を担っている。

これらの地図はネタニヤフ首相の試金石であり、バイデン政権から公に苦情を言われることなく拡張主義的な地図に頼るのは今回が初めてではない。昨年9月、国連でもそうした。

この地図について記者に質問されると、ネタニヤフ首相は「死海は含めていない。地図には示されていない。ヨルダン川も示していない。この地図にはない。ガリラヤ湖も示していない」と主張した。

彼はさらにこう付け加えた。「ユダヤとサマリアのパレスチナ人と我々の間に平和をどう実現するかという大きな問題がある。私はその点には触れなかった。それは別の記者会見で。」彼が「ユダヤとサマリア」という言葉を使ったのは、ヨルダン川西岸とパレスチナ人の占領地に対する正当な主張を消し去ろうとする言葉による試みだ。

バイデン・ハリス政権が反撃する気がないなら、トランプ政権も絶対にそうしないだろうし、欧州の首脳は「懸念」の言葉を少しだけ述べるかもしれない。

アントニー・ブリンケン国務長官の無責任さは、ガザで何万人ものパレスチナ人の死をもたらし、占領地のヨルダン川西岸のパレスチナ人の安全と権利を危険にさらしている。

そしてネタニヤフ首相は引き下がらない。意味のある反撃に直面していないのに、なぜ引き下がろうとするのか？

ネタニヤフ首相は、月曜の夕方、イスラエルの視聴者に向けた記者会見で地図を使用した後、翌日、英語で同様の地図をツイートした。彼は、自分の土地強奪（実際に行われたが、単に地図に描かれただけ）が米国政府内で反対の波をほとんど引き起こしていないことに確実に気づいている。

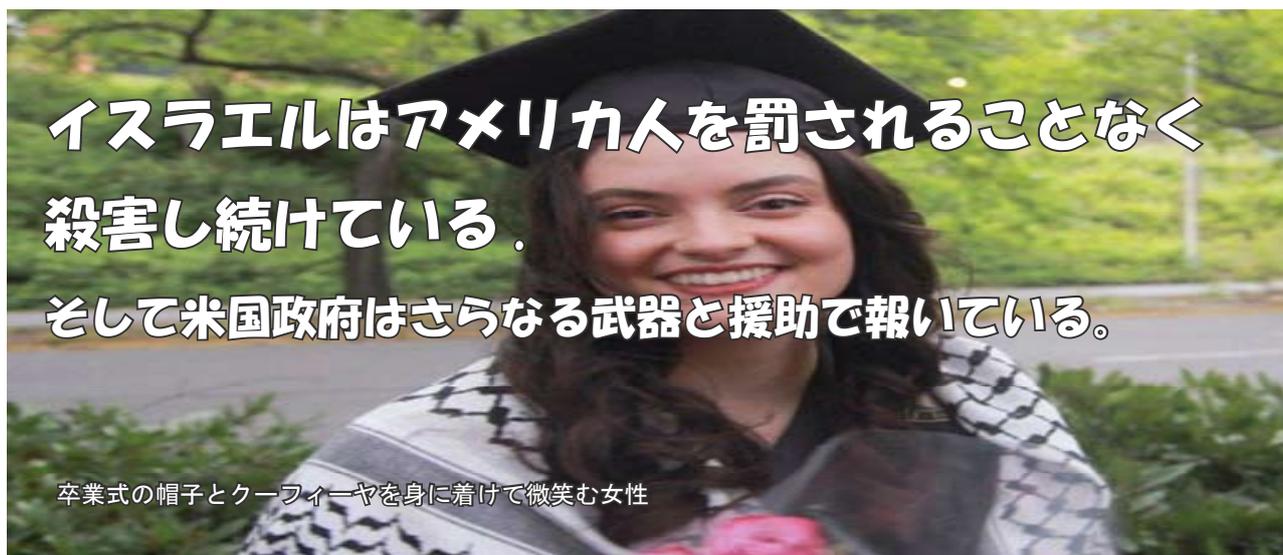
報道機関は土地強奪の地図をわざわざ隠そうとし、イスラエルのすぐ隣にガザが描かれている部分にズームインした。ニューヨーク・タイムズ、ガーディアン、ハアレツ、CNN、ロイターはいずれも、最初の記事でネタニヤフの地

図がヨルダン川西岸をイスラエルに置き換えていることをはっきりと示さないことにした。

タイムズ・オブ・イスラエルのジェイコブ・マギッドの記事は確かに疑問を提起し、ダリア・シャインドリンは9月5日のハアレツのコラムでネタニヤフの土地収奪の地図を批判した。BBCは地図を掲載したが、キャプションでは「占領されたヨルダン川西岸を消したように見える」とだけ述べた。実際、地図は消された。

米国と英国のメディアは、ほとんどが消去地図の重要性を無視した。これはパレスチナ人にとって、そしてアイシェヌール・エズギ・エイギのようなアメリカ人にとって、引き続き致命的な結果をもたらしている。

ジョー・バイデン カマラ・ハリス ベンジャミン・ネタニヤフ マシュー・ミラー ワシントン・ポスト ベイタ・アイセヌール・エイギ ジョン・フェッターマン アントニー・ブリンケン ニューヨーク・タイムズ ガーディアン CNN ハアレツ ロイター ダリア・シャインドリン フィル・ゴードン ハーシュ・ゴールドバーグ・ポリン イスラエル・タイムズ ジェイコブ・マギッド マイケル・F・ブラウンのブログ



オマール・スレイマン

イマーム・オマール・スレイマンは、アメリカのイスラム学者であり、神学に駆り立てられた人権活動家である。2024年9月11日公開

アイシェヌール・エズギ・エイギは、2024年9月6日、占領下のヨルダン川西岸でイスラエル軍に殺害された [AP 通信経由のエギ家 / ISM 提供]

2003年3月の米国によるイラク侵攻の4日前、23歳のレイチェル・コリーは、ガザ地区のパレスチナ人の家屋の破壊に抗議していたところ、イスラエルのブルドーザーに押しつぶされて死亡した。ブルドーザーは米国国防総省のプログラムを通じてイスラエルに販売された米

国製の車両だった。

イスラエル軍の見せかけの調査で、レイチェルの死は事故によるものとされ、訴訟は却下された。20年以上経った今も、両親は正義を求め続けている。

レイチェルの父親クレイグ・コリー氏は最近のインタビューで、イスラエル軍の「自主調査」について遠慮なく語った。「イスラエルは調査をしない、隠蔽するだけだ」と同氏は語った。

先週、著名なパレスチナ活動家との電話で、レイチェルの両親は、ナブルスの違法なイスラエル入植地に抗議中に殺害された26歳のアメリカ人、アイシェヌール・エズギ・エイギの両親を慰めようとした。イスラエルの

スナイパーが彼女の頭を撃ったのだ。

現在、レイチェルの殺害と同様に、アイシェヌールの殺害を隠蔽しようとする動きがある。9月9日、米 국무省報道官のヴェダント・パテルは、この若いアメリカ人活動家がイスラエルのスナイパーに殺害されたことを認めることを拒否し、米国民の命を犠牲にしてもイスラエルの人権侵害と戦争犯罪を擁護する「戦いに身を投じる」という長い伝統を継続している。

翌日、イスラエル軍の声明は占領による意図的な不正行為を免罪しようとしたが、パテルが認めた以上のことを認めた。「彼女は間接的に、意図せずにイスラエル軍の銃撃を受けた可能性が高い。銃撃は彼女に向けたものではなく、暴動の主犯に向けられたものだった」と軍は述べた。

コリー家とエギ家は娘の殺害後、米 국무省に独立調査を要求した。米当局はイスラエルが何らかの形で自己説明責任を果たす能力があると主張しており、その要求は聞き入れられていない。

「これは受け入れられない。状況は変わらなければならない。イスラエル政府の最高幹部にそのことを明確にするつもりだ」とプリンケンがアイシェヌール殺害について述べ、独立調査に関する質問はかわした。

レイチェルさんとアイシェヌールさんの殺害は偶然ではなかった。過去1年間に4万1000人以上のパレスチナ人の男性、女性、子供が殺害されたのも偶然ではない。これらは計画的かつ計算された殺人であり、非人間化、免責、そして混乱を利用して急ピッチで違法な入植を進めたいという願望に駆り立てられたものだ。そしてレイチェルさんとアイシェヌールさんは、イスラエルのテロの唯一のアメリカ人犠牲者ではない。

2022年、パレスチナ系アメリカ人ジャーナリストのシリーン・アブ・アクレさんがヨルダン川西岸でイスラエルの狙撃兵に殺害された。今年1月には、80歳のパレスチナ系アメリカ人オマール・アサドさんがラマラ近郊でイスラエル兵に数時間拘束された後、死亡した。4月には、イスラエル軍が、ワールド・セントラル・キッチン護送隊にいたアメリカ人援助活動家ジェイコブ・フリッキングーさんと他の6人を殺害した。

8月、ニュージャージー州の教師が、ヨルダン川西岸地区でのイスラエルの違法入植活動に抗議中に足を撃たれた。彼の名前は安全のため伏せられている。「教師として納めている税金が、彼らが私を撃ち抜いた弾丸の資金になったのだろう」と彼はメディアのゼテオに語った。

イスラエル人がアメリカ人教師を撃った数日後、米 務長官アントニー・プリンケン、F-15 戦闘機、7億7400

万ドル相当の戦車弾、6000万ドル相当の爆発性迫撃砲弾、5億8300万ドル相当の軍用車両を含む、200億ドル相当の軍事装備品のイスラエルへの追加販売を承認した。

9月9日の記者会見で、ゼテオのプレム・タッカーはパテルに鋭い質問を投げかけた。「この政権が実際に政策変更を発表するまでに、あと何人のパレスチナ人と何人のアメリカ人が殺害され、何人のアメリカ人が暴行を受けることになるのか？」パテルは、米 国政権の停戦努力の失敗についてとりとめもなく語った。

これらの米 国市民の殺害は、これはすべてのアメリカ人への警鐘となるだろう。イスラエルはあなたやあなたの愛する人を殺すことができ、あなたの政府はそれに対して何もしない。実際、あなたの政府は犯人が自ら調査できると断言として主張するだろう。その間ずっと、彼らはイスラエルに年間数十億ドルの資金援助を続け、占領の維持と拡大に必要な武器や機械を供給し、継続的な大量虐殺を実行するだろう。

彼らはまた、イスラエルの組織内、国際裁判所、国連において、イスラエルを責任追及から積極的に保護するだろう。

シリーンの窮状は、米 国が保証するイスラエルの免責を非常によく示している。イスラエル当局は、シリーンのような人物の記憶に唾を吐きかけて正義を否定するだけでなく、彼女の葬儀で彼女の遺体を運ぶ棺担ぎ手を文字通り殴打することを恥じていなかった。昨年、イスラエル軍はジェニンで彼女を称える記念碑を破壊した。

その棺の中にあっただのは、シリーンの遺体だけではなく、パレスチナ系アメリカ人や無実のパレスチナ人を守るアメリカ人の血が流されたときに米 国政府が発する空虚なスローガンや哀悼の言葉のすべてだった。

しかし、米 国当局がこの致命的な現状を守ろうと熱心に取り組んでいる一方で、国内ではそれを精査し、その理由を問う議論が生まれている。なぜプリンケン、務省、そして次々と政権が、米 国がイスラエルに対して規則を施行し罰則を科す能力を無視するパフォーマンス政治を行い、一方で同様の犯罪に対して他の国際的主体に鉄槌を下すのか？同盟国があまりにも高くつくのはいつなのか？

確かに、シオニストのロビー活動は米 国の黙認を捏造する卑劣な役割を果たしているが、ガザでの大量虐殺や米 国人の殺害によって主に刺激された現在の公共の議論は、時間の経過とともにこれらの疑問への答えを加速させ、最終的にはイスラエルの占領を終わらせるだろう。

この記事の最後に、この記事を読んだすべての人に個人的なお願いをしたいと思います。イスラエルの戦争犯

オリブの会通信 第46号(通巻52号)

罪、占領、違法入植地、ガザでの大量虐殺について、友人や愛する人と話し合ってください。変化は良い言葉から始まります。

この記事で述べられている意見は著者自身のものであり、必ずしもアルジャジーラの編集方針を反映するものではありません。

オマール・スレイマン

イマーム・オマール・スレイマンは、アメリカのイスラム学者であり、神学に基づいた人権活動家です。

イマーム・オマール・スレイマン博士は、アメリカのイスラム学者であり、神学に基づいた人権活動家です。彼は、ヤキーン・イスラム研究所の創設者兼所長であり、サザン・メソジスト大学のイスラム研究教授です。

パレスチナ日誌

10月27日

- ・900人の米兵が防衛強化のため中東に向かう
- ・アル・カッサム旅団がテルアビブに向けてロケット弾を発射
- ・占領軍がヨルダン川西岸で大規模な逮捕・襲撃作戦を開始
- ・戦争21日目：ガザ地区各地の家屋への爆撃で60人以上の殉教者が死亡した。
- ・占領軍はヘブロンを襲撃し、ガザからの労働者も標的にした逮捕作戦を開始した。
- ・ベツレヘムを襲撃、市民11人を逮捕
- ・ナブス占領軍襲撃時の負傷者と逮捕者
- ・占領軍ガザ東部アル・シュジャイヤに限定部隊侵入
- ・占領軍がヨルダン川西岸で大規模な逮捕・襲撃作戦を開始
- ・カルキリヤで市民が占領軍の銃弾で死亡
- ・ミサイルがタバに着弾、6人が負傷
- ・ペンタゴンアメリカ、シリアでイランの標的に対する攻撃を実施
- ・占領軍はヘブロンを襲撃し、ガザからの労働者も標的にした逮捕作戦を開始した。
- ・ベツレヘムを襲撃、市民11人を逮捕
- ・占領軍によるナブス襲撃での負傷者と逮捕者
- ・占領軍ガザ東部アル・シュジャイヤに限定部隊侵入
- ・7,326人の殉教者... 戦後21日目に数十人の殉教者、そのほとんどが子供と女性だった
- ・ナブス西部で入植者と占領軍の襲撃を受け、青年が負傷した。
- ・米財務省がハマスへの新たな制裁を発表
- ・西岸で女性とジャーナリストを含む70人の市民が逮捕された。
- ・ベツレヘムで対立、占領軍の銃弾で2人負傷
- ・テルアビブでミサイルがビルに落下し3人が負傷
- ・第3金曜日-アル・アクサへの入場を阻止し、エルサレムの路上での礼拝を抑圧する。
- ・ユネスコ、ガザの校舎への攻撃の即時停止を要求
- ・アル・カッサムがアシュケロンを爆撃
- ・UNRWA：ガザでは62万9000人が避難生活を強いられている
- ・占領当局はガザ地区からの通信を遮断した。
- ・ヘブロンでの対立で3人の若者が重症を含む負傷を負った。

10月28日

- ・米国の教授1700人がバイデン大統領に停戦を要請
- ・米国はイスラエルに対し、完全な地上侵攻ではなく「外科的」作戦を実施するよう求めた。
- ・総会、即時かつ持続可能な人道的停戦を求めるガザに関する決議を採択
- ・占領軍はラマツラ北部のジャラズーンキャンプで家屋を取り壊し、市民7人を

逮捕した。

- ・占領軍は150の地下標的を破壊し、カッサム司令官を暗殺したと主張している。

10月29日

- ・イスラエル軍がヒズボラへの軍事攻撃を発表
- ・イスラエル人捕虜の家族が戦争評議会との緊急会談を要求
- ・占領軍はヘブロン西部のイドナで、幼稚園の子どもたちを乗せた車とバスを没収し、家宅捜索を行った。
- ・イスラエルの侵略による殉教者は7,703人に上り、うち3,195人が子どもである。
- ・ガザ・ロケット弾がキリヤト・オノ、ホロン、ラマツ・ガンに落下し、負傷者や被害者が出た。
- ・ガザ地区各地への占領軍の爆撃が再開された。
- ・アルアルブ・キャンプで占領軍の銃弾により負傷者2名
- ・ベツレヘムのKhalayel Al-Lawzで入植者が市民宅に発砲
- ・占領軍、ナブス南部の町アワルタの若者3人を逮捕
- ・イスラエル、ガザでのスターリンク使用を許可したスペースX社との提携を解消
- ・ヒズボラがザリットの兵舎を攻撃し、直接死傷者を出す。
- ・占領軍機と大砲によるガザ地区への激しい空襲で殉教者と負傷者
- ・アスカル・キャンプで対立、占領軍の銃弾で負傷
- ・ナブス、トゥバス、ラマラで3人の殉教者が占領軍に射殺された。
- ・占領軍がアスカルキャンプの殉教者ハッサン・カトナニの家を爆撃
- ・バラタ・キャンプで占拠弾により4人が負傷
- ・戦争23日目：数十人の殉教者と負傷者、侵略の犠牲者は8千人を超える
- ・占領軍、ヨルダン川西岸地区から少なくとも35人の市民を逮捕
- ・占領軍がエルサレムのシュアファト・キャンプを襲撃
- ・アル・カッサム抵抗軍兵士はペイトラヒアの北西で占領軍と対峙した
- ・ベツレヘムのDheishah キャンプで青年が殺害される
- ・イスラエル軍がレバノンから発射されたロケット弾の落下を発表
- ・占領軍機がレバノン南部を数回空襲
- ・ヒズボラ、国境上のイスラエル軍施設2カ所を標的と発表
- ・ナブス東部で占領軍と対立し、2発の銃弾を受ける
- ・ナブス北西部ブルカで建設中の家屋を爆撃する占領軍

10月30日

- ・イスラエル軍キリヤット・シュモナにミサイル6発発射
- ・オリフで子供が占領軍の銃弾で負傷
- ・エジプトからガザ地区へ48台の援助トラックが通過
- ・占領軍：開戦以来、ガザで239人の捕虜、311人の兵士が死亡
- ・病院を爆破するという脅迫... 数十人の殉教者と負傷者を出した集中夜間襲撃
- ・ジェニンで占領軍に射殺された4人の殉教者
- ・ヨルダン川西岸での逮捕キャンペーン
- ・アルアウジャ交差点にパレスチナ支援物資第8陣を送る
- ・ネトヴォット入植地の民家にミサイルが命中
- ・イスラエルがレバノン南部のアイタ・アル・シャブの町郊外を爆撃
- ・ガザの保健省：殉教者の数は8,306人に増加
- ・ガザ民間防衛テル・アル・ハワで起きていることはジェノサイドであり、ホロコーストである
- ・アル・カッサムがペイトラヒアの北西で占領軍を奇襲
- ・占領軍がガザ地区から女性兵士を解放したと主張

10月31日

- ・UNRWA：作業を続けることは不可能であり、ガザへの援助物資搬入システムは失敗に終わる運命にある。
- ・10月7日以降、イスラエル人の死者は1,538人を超えた。
- ・レポートネタニヤフ首相、ガザからの難民を受け入れるようエジプトに圧力をかけるよう欧州諸国を説得しようとした
- ・占領軍がガザの病院周辺への爆撃を強化... “患者の処刑”に対する国際的警告も
- ・開戦25日目：空襲、陸襲、海襲の連続で数十人の殉教者と負傷者
- ・ヨルダン川西岸地区での逮捕
- ・占領軍は地上侵攻を拡大し、ガザの300の標的を攻撃すると主張している。
- ・占領軍が『マアン通信』編集長宅を襲撃、息子を逮捕
- ・エジプト当局、パレスチナ支援物資第9陣をアウジャ交差点に送る
- ・ネタニヤフ首相、対ガザ戦争は第3段階に入ったと発表
- ・サルフィット占領軍、ファルカ村の土地数百ドゥナムを没収
- ・占領軍、イエメンからエイラート上空を通過するドローンの阻止を発表
- ・エルサレムで逮捕者続出

- ・続く包囲 - 入植者がアル・アクサを襲撃
- ・アル・カッサム、ガザ北部と南部で占領軍との激しい衝突を確認
- ・英首相、ガザ停戦を求めた政府補佐官を解任
- ・UNRWA：ガザでの殉教者の70%は子供と女性だった
- ・ガザの殉教者数は8,525人に増加
- ・住宅地の破壊 - 占領軍の戦車がカラマ地区に到達し、サラ・アルディン通りを横切る

11月1日

- ・保健省：ガザ地区とヨルダン川西岸地区で8,610人が殉教し、23,000人以上が負傷した。
- ・4人の負傷者と大きな被害アシュドッドにロケット弾2発落下
- ・占領軍機がヌセイラート・キャンプの住宅2棟を爆撃し、数十人の殉教者と負傷者を出した。
- ・ガザでのレジスタンスとの衝突で兵士2人が死亡、他の兵士も重傷を負った。
- ・占領軍がジェニンのファタハ地区書記を逮捕
- ・アメリカ政府関係者が明かす：この任務のために数十人のコマンドがイスラエルにいる
- ・トゥルカームで市民が占領軍の銃弾で死亡
- ・ガザ戦争26日目：殉教者、負傷者、そして地上侵攻は続く
- ・占領空軍によるジェニン空爆で3人の殉教者
- ・占領軍は、ガザで兵士9人が死亡、4人が負傷したと発表した。
- ・標的地域の囚人と解放囚 - 家屋を襲撃し、“金、車、金貨”を没収する。
- ・エジプト当局、アウジャ交差点にパレスチナ支援物資第10陣を送る
- ・エジプト、イスラエル、ハマスが外国人パスポート保持者の避難許可に合意
- ・イスラエル、装甲車標的の死者数が10人になったと発表
- ・ガザ地区からの負傷者の第一陣がエジプトの病院に収容された。
- ・ガザ地区北部における占領軍兵士の死者数は14人上った。
- ・保健省ガザ侵攻による殉教者8,850人、負傷者約24,000人
- ・ガザでの戦闘で死亡したイスラエル軍兵士の数は16人上る。
- ・ガザ地区への連続空襲で数十人の殉教者と負傷者

11月2日

- ・国連：イスラエルによるジャバリア・キャンプ爆撃は「戦争犯罪に相当する可能性がある
- ・イスラエルの安全保障代表団がエジプトを訪問し、2つの重要なファイルについて話し合った。
- ・アル・カッサム・ブリゲードガザ北西軸で戦車とブルドーザーを標的にした。
- ・バイデン：“人質”を取り戻すために、ガザでの人道的停戦が必要だ
- ・戦争27日目：ガザ地区への激しい空襲とジャバリアの殉教者
- ・ヒズボラ、イスラエルの無人機撃墜を発表
- ・カルキリヤ襲撃時の殉教者と占領軍の銃弾による負傷者
- ・占領軍ブルドーザーがベイト・ハニナのバラックとフェンスを取り壊す
- ・トゥルカーム近郊で銃撃、イスラエル人死亡
- ・アムネスティ・インターナショナルが証拠を暴露：イスラエルはガザとレバノンで白リンを使用した
- ・ヒズボラがメンバーの殉教を発表
- ・ドイツがハマスの活動を禁止、サミドゥーンを解散
- ・エジプト、ラファ交差点で米国人400人を受け入れる
- ・ガザ北部の衝突でイスラエル軍将校が死亡、4人が重傷
- ・ガザ戦争... 殉教者の数は9061人に上る
- ・ガザ地区に投下された爆弾は2万5000トンを超えた。
- ・アル・マカセド病院を襲撃し、ガザ地区の患者と同伴者を逮捕。
- ・ヒズボラが無人偵察機2機でイスラエル攻撃、占領軍が対応
- ・レバノンのアル・カッサム：我々はキリヤット・シュモナの入植地とその周辺を12発のロケット弾で爆撃した

11月3日

- ・ヘブライ語メディア イスラエルは数時間の攻撃停止と燃料の持ち込みに同意する可能性がある
- ・ジェニンで占領軍による2人の殉教者と4人の負傷者
- ・米下院、イスラエルへの軍事援助法案を可決
- ・占領軍によるジェニン収容所空爆で2人の殉教者
- ・占領軍がアル・ファワール・キャンプを襲撃した際、若者2人が死亡、4人が負傷し、うち1人は重体だった。
- ・ガザでイスラエル兵4人が死亡
- ・占領軍、ヘブロンとサールの市民約15人を逮捕
- ・カランディア・キャンプで市民が占領軍に殺害される

- ・ベイトラヒア基地での墓作業員グループに対するイスラエル軍の爆撃で10人が殉職
- ・アル・カッサムがガザ北部のゼロ距離でイスラエル兵4人を殺害したと発表
- ・二重国籍者の出国は... エジプト、負傷者搬送と人道支援物資搬入のためラファ交差点の開放を継続
- ・瓦礫の下に数十人 ハン・ユニスの西、避難民を保護する家屋の爆撃で15人が殉職
- ・ガザ地区北部の戦闘でイスラエル軍の戦車指揮官が死亡
- ・“保健省” 占領軍の侵略で9,299人の殉教者と25,000人以上の負傷者
- ・レバノン南部でのイスラエルとの衝突で、ヒズボラの殉教者は56人上る。

11月4日

- ・新たな虐殺 - 占領軍がアル・シファ病院を爆撃
- ・シュアファト・キャンプで入植者に撃たれた若者
- ・WHO、占領軍による救急車爆撃に衝撃を表明
- ・イスラエルメディア 米海軍、地中海東部で演習を実施
- ・占領軍がナブルスのいくつかの村や町を襲撃
- ・UNRWA：イスラエルによるガザ攻撃は、戦争犯罪に相当する集団的懲罰だ
- ・ヘブロン南部クルサ村での占領軍による襲撃で、若い男性が負傷した。
- ・ガザ戦争29日目：学校爆撃で63人、ヌセイラートとラファで殉教者、地上攻撃は続く
- ・占領軍、ヘブロン南部のアル・ファワール・キャンプで多数の市民を逮捕
- ・イラクのイスラム抵抗勢力が2機の無人機による米軍「ハリール」基地爆撃の責任を主張
- ・ヨルダン川西岸 10月7日以来145人の殉教者
- ・ガザ北部の避難民を保護する学校への爆撃による殉教者と負傷者
- ・ヨルダン川西岸地区：10月7日以降、2,040人を逮捕
- ・ガザの健康：殉教者の数は9488人に上る
- ・ヒズボラ ミサイルでイスラエルの拠点を狙い、直撃弾を命中させた
- ・カルキリヤ近郊で銃撃、イスラエル兵負傷
- ・入植者たちがヨルダン渓谷のキルベト・イブジクを襲撃し、数十頭の家畜を盗んだ。

11月5日

- ・アル・カッサム旅団がエイラートを砲撃、ベイトラヒア西部で占領軍と衝突
- ・ガザ 絶え間ない空襲で殉教者数は約9500人に
- ・ガザから来た2人の労働者が、アナタとオフェルの占領キャンプで逮捕中に殉教した。
- ・イスラエルで数千人がデモ、ガザで「誘拐」された人々の帰還を要求
- ・占領軍は市民の車を銃撃し、ヤバドの若者を逮捕した。
- ・ナブルスで市民3人が占領軍の銃弾により負傷
- ・アル・カッサム ガザ空爆でイスラエル人捕虜60人以上が死亡
- ・アル=ママジ・キャンプでのイスラエル軍による新たな虐殺で51人が殉教、数十人が負傷
- ・ネタニヤフ首相の自宅前でイスラエル人死者と捕虜の親族が激しく衝突
- ・ヘブロン北部で占領軍の銃弾により2人が負傷
- ・ベイトラヒア 占領軍は意図的に井戸やタンクを爆撃している
- ・追撃と武力衝突の末、アブ・デイスの町でナビル・ハラビヤ青年が殉教した。
- ・ヌバ出身の青年が占領軍に殺害され、もう1人が負傷した。
- ・衝突と負傷者 - ヨルダン川西岸での大規模な逮捕キャンペーン
- ・エジプト当局、アル・アウジャ交差点にパレスチナ支援物資第13便を送る
- ・過激派大臣アミチャイ・エリヤフ、ガザへの核爆弾投下を提案
- ・占領軍：我々はガザで2,500以上の標的を爆撃した
- ・占領自治体がシルワンの町で取り壊し命令と召喚状を交付
- ・イスラエルのサイバー攻撃でパレスチナのニュースサイトが閉鎖
- ・占領軍がガザ北部で兵士の死亡を発表
- ・占領軍兵士がナブルス南部のオリブ摘み取り農民を襲撃
- ・戦争の30日：ガザで9770人の殉教者と戦車の前進を阻むレジスタンス
- ・ガザ自治体、街の大部分が汚水で浸水すると警告
- ・ヒズボラがエスカレート... 北部入植地へのロケット攻撃で死傷者

11月6日

- ・キリヤット・シュモナにロケット弾10発落下
- ・ガザ地区で通信とインターネットサービスが遮断される
- ・イスラエルによるガザ空爆で数十人の殉教者と負傷者
- ・エジプト入港を許可された2隻の船、1,000人の患者をトルコに移送する計画
- ・外国外交官 イスラエルは数千人のガザ住民をエジプトに移住させるために国際的な支援を集めようとしている



パレスチナの歌

Dalal Abu Amneh

私たちはパレスチナ人

私たちはパレスチナ人
私たちはパレスチナ人 私たちの士気は高い...
私たちはパレスチナ人だ 私たちはパレスチナ人だ
世界は私たちの声を聞いている ガザとラマッラの間には無意味な(バリアがある)
ナザレとナブルスでは、私たちの痛みは統一されていた そして、昨日、何が起こったとしても 明日は私たちをひとつにする
私たちはパレスチナ人だ
自由へと私たちは唱える 私たちの士気は決意で練られている
エルサレムへの愛は私たちの中にある 祖父母から孫へ どんなに長いディアスポラであっても、私たちはあなたたち、私たちの祖国に戻るだろう

ダラル・ガジ・ムハンマド・アブ・アムネ(、1983年生まれ)は、イスラエルのアラブ系パレスチナ人歌手、プロデューサー、神経科学者です。

生い立ちと経歴

アブ・アムネは1983年、パレスチナ北部地区のナザレ市で生まれました。彼女はナザレのアラブ系イスラム教徒の中流家庭で育ち、4人の姉妹がいます。彼女はエルサレムのヘブライ大学で認知科学の学士号を取得しました。神経科学の博士号を取得するために、彼女はテクニオン・イスラエル工科大学に通い、2019年に博士論文を完成させました。[1]

彼女は4歳で歌い始め、1987年にスプリングプリンセスコンテストに参加し、「マリアム・マリアムティ」という歌で優勝した。16歳のとき、彼女はパレスチナとレバントの伝統の歌に加えて、伝

統的な歌と古い役の精巧なパフォーマンスで知られていた。サラール・シャルヌービ [ar: arz] やアサラなど、アラブ世界の著名な音楽家が彼女の歌声を鑑賞し、彼らの意見では本物と現代性が融合した彼女の声を称賛した。[2]

アブ・アムネは、2001年に「私は私の心であり、私の魂はあなたの犠牲です」など、幅広い人気を博した曲をいくつかリリースしました。これは、アーティストのアラー・アッザムが作曲し、ハビブ・シェハデが配給し、2003年にカレム・マタール・カリニ・フェイ・バラク・スタジオで録音されたアドナン・アッバシの歌詞です。また、2007年に「カリム・ヤ・ラマダン」、2013年に「オン・マイ・カントリー」という2枚のアルバムをリリースしました。このアルバムは、パレスチナのさまざまな側面とさまざまな歌詞スタイルについて語っています。その中の1曲は、ラジオで最も成功した曲のリストに載った「アイン・アル・マジュラ」と、2006年のユーロメッド国際フェスティバルで選ばれた5曲の中に入った「バクラ・ジャディード」です。[2]

2022年、彼女はUAEとイスラエルの関係が正常化したため、ドバイ万博への出演依頼を辞退した。[4]

ソーシャルメディア論争

アブ・アムネは、2023年10月7日のハマスによるイスラエル攻撃の夜に、ソーシャルメディアに「神以外に勝利者はいない」という声明とパレスチナ国旗の絵文字を投稿した後、2023年10月16日にナザレの自宅でイスラエル警察に逮捕された。警察は、この投稿は暴力を扇動するヘイトスピーチであると主張した。[5][6][7] 彼女は公共の平和を脅かし、逮捕に抵抗し、警官を脅迫した罪で起訴された。[8] 彼女は2023年10月18日に釈放され、5日間の自宅軟禁となり、45日間は戦争に関するソーシャルメディアへの投稿を一切行わないよう命じられた。[9][1] 彼女に対する告訴は後にイスラエルの裁判官によって却下された。[8]

アブ・アムネは、このメッセージは彼女の信仰を表明するものであり、紛争のどちらか一方を支持する意図はなく、彼女のソーシャルメディアチームが彼女に知らずにパレスチナ国旗の絵文字を投稿に追加したと主張している。[8] この投稿が拡散して以来、彼女と彼女の家族は殺害の脅迫にさらされ、10月下旬からはアフラの自宅前で毎晩抗議活動を行っている。

YOUTUBE ; Dalal Abu Amneh - Ehna Flestinia で検索

おいしいパステナ

タヒニサラダ

タヒニ サラダは作り方がとても簡単で、材料もほんの少ししかありません。新鮮でシャキシャキした野菜と、タヒニ ドレッシングの濃厚でナッツのような味わいが組み合わさって、このレシピに独特の風味が生まれます。

タヒニとは？

タヒニは、タヒナとも発音され、焙煎した挽いた殻付きゴマから作られるナッツ風味の中東の調味料です。タヒニは、中東だけでなく米国や世界中で主流になりつつあるフムスやパバガヌーシュの主要材料と考えられており、さまざまなレシピに使用されています

中東料理に由来するタヒニは、濃厚でナッツのようなクリーミーな味で知られています。タヒニは、単にすりつぶしたゴマから作られたペーストです。

タヒニサラダとは？

タヒニサラダは、さまざまな野菜とタヒニベースのドレッシングを組み合わせた、新鮮で風味豊かな料理です。

このサラダは、どんな料理にも深みとクリーミーさを加えるゴマペーストであるタヒニの汎用性を示しています。ミックスグリーン、ジューシーなトマト、シャキシャキしたキュウリの組み合わせです。

まな板 - 新鮮な野菜を切るためのものです。

ナイフ - すべてのハーブと野菜を切るため。

大きなボウル - すべての野菜を混ぜるため。

小型の万能泡立て器 - タヒニを水と残りの材料と一緒に泡立てるのに役立ちます。

タヒニ サラダの材料：キュウリ、トマト、パセリ、塩、レモン、タヒニ、水

ペルシャ キュウリ - このサラダにはペルシャ キュウリを使用します。種がなく、非常にシャキシャキしていて、マイルドな甘味があります。

フレッシュ トマト - このレシピではローマ トマトを使用するのが好きです。ジュースがあまり含まれていないので、サラダに最適です。

フレッシュ パセリ - イタリアン パセリを使用するのが好きです。葉は柔らかく、素晴らしいピリッとした味がします。

ごまペースト (タヒニ) - 良質のタヒニペーストを見



つけることが重要です。ほとんどのアラビアのブランドは良質で、中東製品を販売しているどの店でも見つけることができます。

フレッシュレモンジュース - ドレッシングにはフレッシュレモンジュースを強くお勧めします。

海塩 - 私は海塩を使うのが好きです。

手順

タヒニドレッシングの作り方：

小さなボウルにタヒニと水を混ぜる

ステップ 1 | 小さなボウルにタヒニペーストの上に水を加え、かき混ぜます。

小さなボウルにタヒニと水を混ぜる

ステップ 2 | 小さな泡立て器またはスプーンでタヒニと水を混ぜます。

小さなボウルに水、レモン、塩を混ぜた後のクリーミーなタヒニ

ステップ 3 | クリーミーな質感になるまで混ぜ続けます。次にレモンと塩を加え、すべてを混ぜてもう一度混ぜます。

野菜の準備

まな板にトマトとキュウリを刻む

ステップ 1 | 野菜を約 1/4 インチかそれより小さいサイズに切り刻みます。

まな板に刻んだパセリを置きます

ステップ 2 | パセリの葉を摘み、よく洗ってすすぎ、細かく刻みます。

ボウルに刻んだ野菜を入れます

ステップ 3 | 刻んだ野菜をすべて大きなボウルに入れます。

ボウルに入れた刻んだサラダにタヒニ ソースをかけます

ステップ 4 | 刻んだ野菜にタヒニ ドレッシングをかけます。

ステップ 5 | ドレッシングを野菜とよく混ぜ、必要に応じてレモンと塩を調整します。



9月19日イスラエル大使が沖縄県副知事と会談



9月17日獄中にあるサダト PFLP 書記長の妻が逮捕された



命がけて真実を伝えているガザのジャーナリストたち



9月11日、住友商事への抗議行動

今号の内容

イスラエルが戦線を拡大・・・1
 ビスバのポケベルが暴発・・・3
 暴ヒズボラはどのようにポケベルを入手したか?・・・5
 「安全地帯」への攻撃・・・7
 ネタニヤパレスチナを消し去る・・・8
 イスラエルは罰せられることなくアメリカ人を殺害・・・10
 パレスチナ日誌・・・12
 パレスチナの愛した歌・・・14
 おいしいパレスチナー・・・15
 トピック・・・16



9月14日停戦を求めてテルアビブで50万人がデモ



9月14日京都で定例デモ



9月13日、国際航空宇宙展にジェノサイドに加担している企業を参加させるな